

2024年度AED訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2024年度分)

団体名	大和郡山市 北市場自治会 自主防災会		
			
			

〈この活動を行った目的・動機〉

- ・傷病者の傍に居合わせた人が、速やかに適切な蘇生法を行うことで、命が救える事を知っていただく
その方法を知り、実際に自治会員全員が応急手当できる様になっていただくことを目的とする。

〈活動実施方法について〉

- ・北市場自主防災会では、自治会役員会が毎月月末に開催されるので、役員会終了後に心肺蘇生法(胸骨圧迫)の実技訓練を開催しています。また年に1度12月には、合同訓練として、避難訓練後に心肺蘇生法の実技訓練を実施しています。
- ・応急手当の重要性を理解していただく(応急手当と救命曲線説明)事からお話をし、実際に傷病者の傍に居合わせた際の行動説明(協力者の呼びかけ、119番通報、AED依頼、救命処置)を実施した上で、心肺蘇生法(胸骨圧迫)の実技訓練を実施しています。

〈活動で得られた成果について〉

- ・実際に人形を使用しての胸骨圧迫は、初めての方も多いので、十分な強さ!十分な速さ!絶え間なく!この点に留意し、訓練を開催いたしました。QCPRアプリ使用により、強さ、速さについても、意識した訓練ができました。実際に訓練してわかった事は、特に、応急手当を行う方が高齢者の為、長く続かない事がわかりました。そこで訓練では、手当を行う人が、人形の前後に配置し、交代(1分毎素早く)して胸骨圧迫を実施する訓練が効果的がありました。